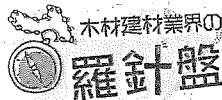


日刊木材新聞

発行所 日刊木材新聞社
〒135-0041 東京都江東区冬木23-4
編集 営業 ☎03-3820-3500
FAX03-3820-3519
総務 販売 ☎03-3820-3511
FAX03-3820-3518
https://jfpj.jp/
eメール info@jfpj.co.jp
購読料 1ヵ月 6,200円
©日刊木材新聞社 2024
本紙の無断複製(コピー・PDF)配布は、著作権の侵害にあたり違法です。



木材建材業界の
羅針盤
木材建材ワイワリー
Japan Lumber Reports
電子版

コンポーネント工場の設備刷新

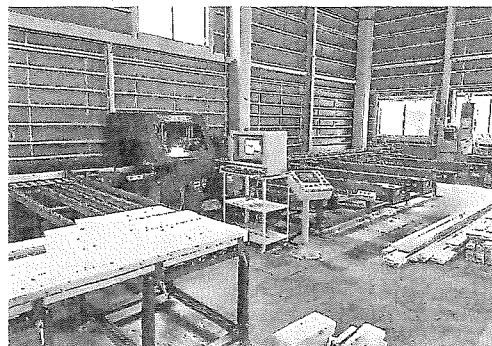
省力化と生産能力増強を実現

佐藤工務店

佐藤工務店(北海道美幌市、佐藤勇治会長)は、2×4コンポーネント工場の設備を刷新し、本格稼働した。工員数は増やさずに生産能力を増強し、住宅販売エリアの拡大を視野に入れている。同時に、従来は自社向け加工に特化していたが、4月からパネル販売も展開し、中・長期的に年間50棟のパネル販売目標を設定している。

同社は、全棟地盤調×4住宅を特徴として、主力商圏は札幌から空知までのエリア

で、年間20〜25棟の実績を重ねている。OB客の紹介で安定受注を獲得しており、特に農家など1棟40〜50坪程度の大型住宅を手掛けることに強みがある。道内では千歳市や北広島市などで住宅需要がおり、今後は同エリアへの2×4住宅の販売を



本格稼働している佐藤工務店工場

強化する方針を掲げている。また、同社の2×4コンポーネント工場は約30年の稼働実績があるが、これまでは自社向け加工に特化していた。このなか中・長期計画でパネル販売も強化していく方針を掲げ、5年間をめどに年間50棟水準まで販売量

を増やすことを目標にしている。佐藤会長は、「設備投資の大きな狙いは省力化と外販。(限られた職人数で)生産能力を増やすことを考えて工場の刷新を決めた」

と抱負を述べている。なお、具体的な新規設備は日新興産(東京都、原口博光社長)の壁パネルコンビネーションライン、高速カット&墨付ラインⅡ型、3次元屋根材カッターの3つ。

壁パネルラインはフレミング用釘打機や開口部ルーター、合板釘打機で効率的な作業につなげることができると、屋根材カッターはCA

造作用集成材も

JAS製品

TSC株式会社 ティ・エス・シー
〒292-0838 千葉県木更津市潮浜2-1-53
TEL/0438-37-0206 FAX/0438-37-2349
ホームページ http://www.syusei-tsc.com

らに自動2段階み投入できた」と話している。

D/CAM対応で様々な形状で角度切断を可能としている。また、高速カット&墨付ラインⅡ型はCA

装置を備えていることで、データ連動による自動2本重ねでカットもできる。墨付けは高速カートリッジ式インクジェットシステムを採用しており、事務所で作成したパネルデータを使用し、墨付けを行うほか木口にも対応している。なお、同機はIoT仕様のためネット経由によって事務所のパソコンで作動状況を確認できるほか、万が一のトラブル時もすぐに知らせることが可能だ。原口社長は、「レイアウトを含めてトータルで提案できたことで、当社の強みを発揮

日刊木材新聞社 支社・支局

- 大阪支社 ☎06-6534-4300 Fax06-6534-4331
- 中部支社 ☎052-251-2025 Fax052-241-1160
- 中国支社 ☎082-231-2285 Fax082-293-9788
- 九州支局 ☎096-352-1856 Fax096-322-6005
- 東北支局 ☎022-239-4430 Fax022-231-3474

主な記事

- ▽2面 日南町森林組合、60周年と事務所完成祝う
- ▽3面 欧州材商況 供給と需要が低位で均衡
- ▽4面 業界ダイアリー
- ▽5面 木材・建材の価格推移
- ▽6面 5地区合同森林認証会議から
- ▽7面 旭川林産協・北海道産広葉樹銘木市